

事前評価個表

整理番号	15
------	----

地域（地区）名	ひがしみかわ 東三河	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	あいち 愛知県	対象市町村	したらちよう 設楽町ほか7市町村
事業実施期間	R5年度～R9年度（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、愛知県の東部に位置する北設楽郡設楽町はじめ5市2町1村の区域からなり、本地区の総面積 172 千 ha のうち、森林面積は 109 千 ha（森林率 63%）、対象民有林は 101 千 ha（森林全体の 93%）、うち人工林は 77 千 ha（人工林率 76%）となっている。</p> <p>本地区の人工林は、間伐の対象となる 3～12 齢級の森林が 32 千 ha と 42%を占めているが、木材価格の低迷等により森林所有者の経営意欲が低下しており、整備の行き届いていない森林や伐採適期を迎える高齢級の人工林が増加している。このため、森林の有する水源涵養機能等の公益的機能が十分に発揮されなくなるおそれがある。</p> <p>県内では平成 30 年度に大型製材工場が本格稼働した他、本地区において令和 4 年度から新たな製材工場が稼働している。今後、県内では木質バイオマス発電施設の稼働も予定されており、木材需要はますます拡大することが見込まれている。一方、本地区の人工林では 13 齢級を超える高齢級林分が増加しており、適正な更新及び主伐後の確実な再生林により、森林の循環利用が可能な林分構成に改善し、木材の安定供給の確保を図る必要がある。</p> <p>県内の森林施業の多くは架線系作業システムにより実施されているが、効率的な施業の推進のための林内路網密度は 25m/ha 以上の水準が望ましいとされている。しかし、本地区の林内路網密度は 22.7m/ha と水準を下回っており、効率的な森林施業の推進や木材生産量の拡大に向けて林道の開設や改良、森林作業道等の整備が必要となっている。</p> <p>本事業では、森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、東三河地域森林環境保全整備事業計画に基づく、低コストで計画的な間伐や再生林等の森林整備事業及びこれらを効率的に推進するために必要な路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：893ha 人工造林、下刈り、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：10,621m 林道開設、改良</p> <p>総事業費：2,256,562 千円（税抜き 2,051,420 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=2.41 （総便益（B）=6,398,378 千円、総費用（C）= 2,655,851 千円）</p>

評価結果	<p>必要性： 整備の行き届いていない森林が存在しており、森林の有する水源涵養機能等といった公益的機能の持続的な発揮を図るためには、間伐や再造林等森林の整備及び保全を進める必要があり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 費用便益分析結果から十分な効率性が認められるとともに、路網の整備により効率的かつ効果的な森林整備を推進することとしており、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林整備によって、森林の有する水源涵養機能等といった公益的機能及び木材等生産機能の維持増進が図られるため、事業の有効性が認められる。</p>
------	---

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：愛知県

地域(地区)名：<sup>ひがしみかわ</sup>  
東三河

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	706,569	
	流域貯水便益	312,578	
	水質浄化便益	1,176,465	
山地保全便益	土砂流出防止便益	596,573	
環境保全便益	炭素固定便益	805,131	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	43,840	
	木材利用増進便益	32,007	
	木材生産確保・増進便益	508,385	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	15,230	
	森林整備促進便益	2,172,667	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	28,933	
総 便 益 (B)		6,398,378	
総 費 用 (C)		2,655,851	
費用便益比	$B \div C = \frac{6,398,378}{2,655,851} = 2.41$		



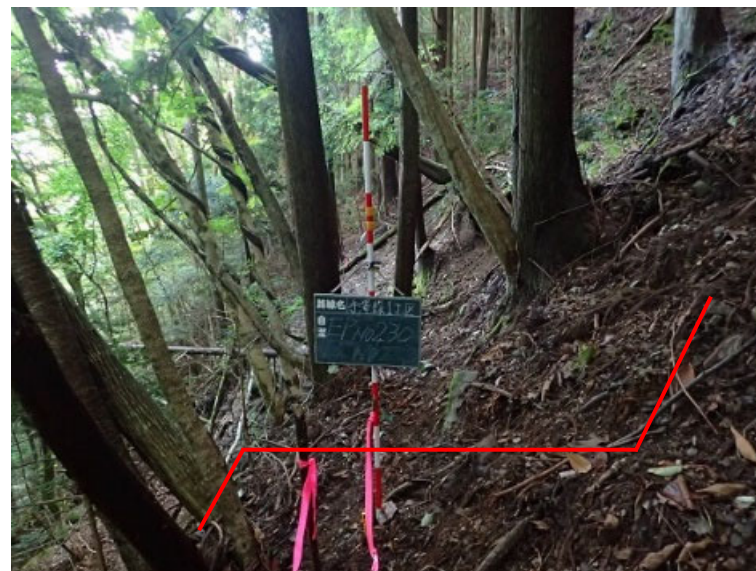




## 手澤線 工事計画箇所写真



起点 (W=4.0m)



終点 (W=4.0m)